

**【勝率50%でもリスクリワード比率1：2ならお金は増える!?!】**

どうもゆうです！

さて、この前から神レベルトレーダーこと根崎さんの

プライスアクションを学べる講座をメルマガで

開始してますね～

メール登録後のPDFではプライスアクショントレードの

「ピンバー」などが解説されていると思いますが

対談音声ではさらにトレードチャンスを増やすための

「ツイン」や「十字」なんかの話もされていますね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を  
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える  
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

PDFレポート

【数千人のFXトレーダーを見てきた講師が明かす  
「勝てる人・勝てない人」の違いとは？】

<http://fxgod.net/pdf/kateruhito.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

それで、これはあくまで「序章」なんで、

これからもっと突っ込んだトレードルールとか

検証のやり方とか、利益をあげるための考え方

などを根崎さんから動画や音声や PDF で教えてもらえる予定です！

まあ FX で数十億円稼いだ人からこうやって

無料で学べるってのはすごい時代ですよ。

個人的にはネットってこういう部分で面白いと

思ってます。

ちなみにまあ根崎さんはもう一生食うに困らない資産お持ち

だから、それなのでこうやって無料で言えちゃうっていう

話でもありますね。

ちなみに対談音声なんかも音質も調整して

聞きやすくしてますので、

これ聞きまくるだけでおそらく潜在的な読者さんの

考え方が「稼げる考え方」になるから

ぜひ聞いてみてくださいね～

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を  
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える  
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

さて、早速ですが、もう対談音声を聞いて

もしくはPDFなんかでピンバーやエンゴフルフィンバーなんかを

学んで、

「検証」に入ってる熱心な読者さんもいらっしゃると

思います。

え～～ちなみに、まず根崎さんが生徒さんに

最初教えてるのが

やはり 基礎的なピンバーですよ。

ピンバーってのは多くの人のストップが刈り取られまくって

それでその後買い上げられたっていうそういう

ろうそく足であります

そこで基本ルールってのが

買いピンバーだと、

「ピンバーの上の値で逆指値エントリー。

ストップはピンバーの下。

利益確定は同じくピンバーの同じ長さ」

ってのを私は最初に学んだものです。

ただ、これは検証していただくと分かると思うのですが

私なんかはMA 10、20、75あたりの基礎の

短期、中期、長期のMA出したり

あとは水平線、もしくは緩やかなトレンドラインゾーンに

あたってピンバーなんかはよく検証するんだけど

これだと上のルールじゃなくて

「ピンバーの上の値で逆指値エントリー。

ストップはピンバーの下。

利益確定は同じくピンバーの「2倍の長さ」」

でも普通に利益出るのが検証して分かると思うんですね。

これは私も全通貨検証したわけではないですが

ある程度主要な通貨ペアだと、検証したら

4時間足とか日足とかで普通に利益が出るトレードになる

というのが検証して分かるかな？と思います。

まあ非常に「シンプル」ですよ。

特に初心者さんなんかは ピンバーだけ、でも検証していいけど

それ以上に MA に髭がしっかりタッチしてる（しっかりってのは

髭がはみ出していない）

そういうピンバーとかは検証されると良いと思います。



それで、大体勝率が60～70%でリスクリワードが

1 : 2くらい、のトレードはプライスアクションの

ピンバーだけでもできるのだな、

ってのは検証で優位性は分かってくると思います。

大変シンプルですよ。

ちなみに「勝率50%」では多くの人は勝率が

少ないと思いますが、

実は「勝率50%」でもぜんぜん良いわけですね。

例えば勝率50%で 損失が1万円、利益が2万円という

リスクリワード1 : 2のトレードの場合、

実は破産確率ってのはほとんどありません。

バルサラの破産確率では大体破産確率が

1%未満になりますね。

ちなみにバルサラの破産確率が初耳な方は

PDFに以前まとめているから、理解しておいてください。

PDFレポート

【「恐ろしき」バルサラの破産確率】

<http://yuhfx1.com/pdf/balsara1.pdf>

なのでリスクリワードとしてリスク1リワードが2前後の

トレードの場合ですと

まあ勝率50%もあれば十分で

資産は増えていくってことです。

実際に上記の事例だと10回トレードしたら

5回負けて 1回トレードが1万円損失だから

5万円損失、

けど5回勝って、1回トレードが2万円利益だから

10万円利益、

差し引き5万円は儲かるわけですね。

ちなみにこれが1回トレードの金額をより取れるようになってきて

さらに利益は上がります。

それでプライスアクションの「検証」をすると

よく分かると思うんですが

例えば「ピンバー」なんかでは

上のMAタッチピンバーだとか

あとは水平線、緩やかなトレンドラインゾーンタッチの

ピンバーなんかは

結構強くてですね、

通貨ペアや時間足によっても変わりますが

リスクリワード1 : 2の設定でも

勝率は6割、良い場合だと7割くらい出たりするのが

検証すると分かりますよね。

ちなみに実際のリアルトレードだと手数料も考えて

リスクリワードは細かく言うと1 : 1.9とか1 : 1.8前後

取って行くと思いますが、

リスクリワード1 : 2の比率で

勝率がどれくらい出るか？

っていうのを検証でやってみるといいんですね。

それで何度か検証していきましたら、次は

デモでそれが機能するか確認して、

そして次は小さな実弾で、デモのように機能するか

確認して

いよいよ本格的実弾、となると思います。

それで検証のときなんかは私なんかがよく

上記のリスクリワード比率図るときに使うのが

フィボナッチリトレースメントですが

これはMT 4の上側に「F」ってフィボナッチあると

と思いますが、

ここでピンバーの長さにドラッグして幅とってあわせたら

自動的に2倍の利益確定ポイントまで表示させることが

できます。

フィボナッチプロパティってところで。

そうしたら検証が素早く終わりますね。

ここで「このトレードは利益確定 ピンバーの2倍の長さまで

伸びた」

「このトレードは伸びなかった」

など簡単に素早く検証できます。

それでこうやって検証していくわけですが

実はそこで仮に勝率が50%前後であったとしても

リスクリワードが1 : 2あれば、ぜんぜん利益は

出るわけですね。

なのでリスクリワードをちゃんと取っていると、

ここで勝率をやたらあげなければいけない

っていうプレッシャーはなくなりますから

そういう意味でリスクリワード1 : 2をまず取って



検証してみるってのは大事なのかなと私は思います。

なのでよく「勝率90%」とか勝率自慢のものが

多いですが

実は利益出すためには勝率っていうよりは

リスクリワードと勝率の関係値が大事でして、

特にプライスアクションのトレードだとこの

リスクリワード1：2あたりってのははまり易い

そんなバランスですよね。

ちなみにもっと進んだやり方だと

2つのルール設定して、トレールも入れるやり方も

あるんだけど

それは根崎さんから今度教えてもらえると思います。

それで検証してみると分かると思いますが

かなり、機械的なトレード、になりますよね。

なので実際に EA 化できるんじゃないか、っていう話でも

ありますが、

このように トレードを機械的にまとめていくのが

**「裁量トレーダーがよく言うシステムトレード」**

ですね。

このシステムトレードっていうと多くの方は  
「サインにしたがって売買」のやつと勘違いするけど

根崎さんが重視してるのは

こういう検証を通じて、

**「裁量トレーダーが自身のトレードをシステム化すること」**

です。

プライスアクションなんかも何かの支持帯、

それはMAでもよいし、

水平線でもトレンドラインでもいいですけども

そこでタッチしたプライスアクションで

上記のようにリスクリワード 1 : 2 を取って行く

なんてトレードはもう機械的でほぼシステムトレード

になるわけですね。

そういう意味では興奮とか面白さありませんで

機械的に利益が検証の中で積み上げられたとおりの

確率優位性でつみあがってくるという感じになります。

だから「検証」を通じてどうしたいか？っていうと

「自分のトレードをシステム化していく」

ってことですよね。

感情を持った自分のトレードをまるで

機械のようなシステムに近いトレードに変えていく

これが結構最初では大事なことです。

それで自分なりのシステムを確立するためにですね、

ここで検証するのが必須になるんですね。

これが大事で「自分なりの」システムなんです。

ちなみに私なんかがこの数ヶ月検証してるのが

トレンドラインゾーン反発のピンバーなりの

プライスアクションですが

これも自分なりのルールですよ。

確率優位性が確認できていればそれでよい。

それで上記の MA タッチでも良いですし、

あとはさらに強いのが MA 10、20 を髭でまたがって

それで MA の上に実体に乗っかってるピンバーとかですが

これは出現頻度は低いけど

やはり 1 : 2 のリスクリワードだと相当勝率高くなります。

あとは、ダウ理論の原理原則とマルチタイムフレーム見て

4時間足で仕掛けるなら、月足、週足、日足のダウ理論の

高値安値推移みて、

そこに合致するピンバーとかのルールもありますよね。

これは少し検証に若干時間がかかりますが

いくらでもトレードルールってのは作れるんですね。

それで検証する中で 色々と確率優位性の高いルールは

読者さんなりに作り出せますが

一番難しいのが音声でも言われてたことで

「ルール守ること」です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を  
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える  
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

すなわち、「自分でシステム化したそのルールを

守っていくこと」ってのが



一番難しいんです。

けどこれは実は「検証」を重ねることで  
ルールを守れるようになっていくのが人間の脳みそでして

最初はルール違反していても

徐々に検証を積み重ねると確率優位性が

脳内に染み込むので

その通り淡々と決済ができるようになるわけで

これも検証の慣れ、になりますよね。

なのでひよっとしたら多くの人が

「裁量トレードでそれをシステム化する」

っていう考え方を初めて聞いたかもしれませんが

これが実は最近の欧米トレーダーの基礎的な考え方です。

たぶん日本では

裁量トレーダー

システムトレーダー

EAトレーダー

みたいな感じで、分けて考える傾向があるけど

欧米、特に根崎さんが学んだ150人の億トレーダーが

講師してるような学校では

## 世界基準の教育として

「君のトレードルールをシステム化していきなさい」

と教えてるってことですね。

それでシステム化して行って、

その自分なりのトレードルール、システムが沢山

出来上がってくるのですが

そこでエントリー回数なんかもあげていけて

月利の安定性も出てくるっていう考え方になりますよね。

たぶん上記のような道筋って初めて聞いた人が

多いと思いますが、

これが「知ってるか、知らないか」の世界です。

ほんと知らないと損しちゃって、何十年も無駄になる。

知らないって怖いんですね、ほんと。

一方上記のシステム化する、っていう考え方知っていれば

一気に道筋が見えてくるので

素早くある程度のお金が稼げるようになるっていう

そんな2019年であります。

それで裁量トレードをシステム化するにあたって、

そこで「リスクリワード」と「勝率」の関係値を

検証ではじき出す必要があるってことですね。

そこで検証効率性をあげていくために

上記のフィボナッチなんかは便利です。

ということでいきなり一本目の対談音声から

かなり水準が高い？かもしれませんが

ただこれは欧米の投資教育機関では常識とされてる

内容と根崎さんからも聞いているので

ぜひ「ちゃんとした成功する道筋」で学んでいきましょう～

ということで検証されてる人も多いと思いますが

上記のようなことを意識されて

ぜひこの4月、神レベルトレーダーの数十億円稼いだ

根崎さんから色々学べるので

この機会に「強く」なっていきましょう！！

では！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

神レベルトレーダーこと根崎さんとの対談音声1本目を  
公開！

なんとプライスアクションの実戦的に使える  
話も無料で話してます

⇒ <http://chart-ma.com/td/yuu/>

PDFレポート

【数千人のFXトレーダーを見てきた講師が明かす  
「勝てる人・勝てない人」の違いとは？】

<http://fxgod.net/pdf/kateruhito.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆